

【概要】

2016年度 民間住宅ローン借換の実態調査

I 調査の概要

現在、民間住宅ローンの借入があり、2016年4月～2017年3月に借換をされた方を対象として借換による住宅ローンの金利タイプの変化などの事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。回答数:1360件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 借換前後の金利タイプの変化は、「固定期間選択型 → 固定期間選択型」への借換割合が最も高い。<p. 3>

- ・借換前後の金利タイプの変化パターンの全体の変化に占める割合は、「固定期間選択型 → 固定期間選択型」が最も高く、全体の41.4%を占めている。
- ・次に割合が高いのは、「変動型 → 変動型」で、全体の15.9%を占めている。

2 借換前後の金融機関業態の変化は、「地銀・第二地銀等（ネット銀行などを含む。） → 地銀・第二地銀等（ネット銀行などを含む）」への借換割合が最も高い。<p. 9>

- ・借換前後の金融機関業態の変化パターンの全体の変化に占める割合は、「地銀・第二地銀等（ネット銀行などを含む。） → 地銀・第二地銀等（ネット銀行などを含む）」が最も高く、全体の19.7%を占めている。

3 借換までの経過年数は、経過期間「5年以下」と比較的早期の借換が最も多い。<p. 10>

- ・借換までの経過年数は、すべての金利タイプで経過期間「5年以下」と比較的早期の借換が最も多い。